

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		29300 交通安全施設維持補修事業	予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 2	所管課	建設課	担当班	土木班	
施策体系	基本施策	31 交通安全対策の強化	根拠法令	道路法				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	施策の展開	61 交通安全環境の整備	戦略事業	266 交通安全施設維持補修事業								
	施策の展開		戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。 ・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等 ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。	自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。	市民から、道路における交通安全施設の設定要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円						
1.維持補修費	450	交通安全施設の維持補修(主に照明灯の電球交換)				
2.工事請負費	7,911	交通安全施設全般の新設・更新				
3.原材料費	898	カーブミラー、道路標識の購入費(職員直営の補修に使用)				
4.委託料	5,973	交通安全施設維持補修業務委託				
5.負担金補助及び交付金	918	用水施設改修事業負担金				
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	637	用水施設改修事業負担金				

事業費	費目内訳	1.維持補修費	千円	641	611	670	450	540
		2.工事請負費	千円	15,782	20,743	11,003	7,911	15,260
		3.原材料費	千円	1,219	2,573	863	898	1,025
		4.委託料	千円	0	4,000	5,973	5,000	
		5.負担金補助及び交付金	千円	0	0	0	918	0
		事業費計(A)	千円	17,642	23,927	16,536	16,150	21,825
財源	財源	1.国庫支出金	千円					
		2.都道府県支出金	千円					
		3.地方債	千円					
		4.その他	千円				637	
		5.一般財源	千円	17,642	23,927	16,536	15,513	21,825

前年度増減理由	関係機関との協議に時間を要し、当初予定の工事が施工できなかったため。
---------	------------------------------------

従事職員数 常時 1人 最大 3人 × 日 = 延べ 0人

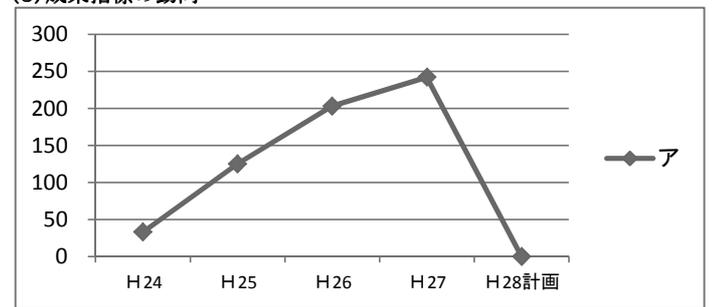
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名							
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 交通安全施設の設置・維持管理 通学路の危険箇所への対応		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名							
	市道及び利用者(市民) 安全性が向上する。安心して通行できる。		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
			ア	防護柵新設・更新延長	m	545	372	104	3	200
			イ	カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	8	19	14	1	10
			ア	危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	箇所	33	125	203	242	

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	②	評価結果	①	
	普通			②	
	小さい			③	(5)
			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
				成果動向	ア		92	78	39	△ 242
					イ					
③ 今年度取組事項	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()						